



平成31年度

やまみなみ校長室だより No. 1

平成31年4月8日

岸和田市立山直南小学校

校長 松村 慎治

「子どもも先生もみんなが輝く学校園」をめざして

今日から新年度が始まりました。子どもたちは、今日の始業式をどんな気持ちで迎えたでしょうか。わくわく、ドキドキ、新たな出会いに期待を持って臨んでくれたでしょうか。

4月4日は本校の入学式でした。歴史と伝統を誇る本校の仲間として新入生30名を迎えることができました。保護者の皆さんや多くの地域の方々の温かい見守りの中、新1年生はこれから始まる小学校生活への期待感を抱きながら式に臨んでいるようでした。そして、ちょっぴり先輩として頼もしくなった2年生が、歓迎の歌や劇を披露して、入学を祝いました。新1年生の笑顔がこぼれました。

そして今日、全ての在校生と新1年生とが対面をして、全児童202名で今年度が始まりました。昨年度末に教職員の異動があり、本校の職員体制も変わりました。私たちも新たな出会いに心弾ませ、子どもの健やかな成長に向け、取り組もうとしているところです。今日の始業式での様子、担任の先生や学級の様子など、お子様からお聞きいただきたく思います。子どもたちはどのように語ってくれるでしょうか。

さて、保護者の皆さま方、地域の皆さま方におかれましては、本校教育活動に対しご理解ご協力を賜り、本校園を支えていただいております。本当にありがとうございます。今年度も次に掲げております学校経営の基本理念のもと、教職員一丸となって教育活動を進めてまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

《今年度の重点目標》

「子どもも先生もみんなが輝ける学校園に」(めざす学校像)

- 笑顔があふれる学校園
- 子どもの明るい声が響く学校園
- 一人ひとりがつながる学校園



「笑顔があふれる学校園」

子どもにとって「わかる」「できる」「仲間や周りの人の役に立った」といった達成感や成就感、自己有用感を体感する経験を積み上げ、内面を満たされていくことで自然な笑顔があふれることにつながると考えます。それは私たち大人も同じだと思います。

「子どもの明るい声が響く学校園」

安心して過ごすことのできる学習集団の中で、子どもたちが主体的に発言や発表を行うことが、今求められている「主体的、対話的で深い学び」の実現につながっていくと思います。ことばの力や、挨拶や返事等を含むコミュニケーション力を高めることが大切であると考えます。

「一人ひとりがつながる学校園」

どの子ども大切にされ、健やかに成長できる場としての学校でなくてはなりません。一人ひとりを尊重し、互いの違いを認め合い、ともに成長しようとする意識の醸成を図る取組みの充実が必要と考えております。子どもたちが仲間とのつながりを実感できるよう取り組んでまいります。そして、保護者の皆さま、私たち教職員もつながることが大切だと考えております。